プロフィール

I W A T A
T A K A S H I
岩田崇

株式会社 ハンマーバード代表
慶応義塾大学SFC研究所
上席所員

HammerBird
www.hammerbird.jp

Yahooニュース掲載
の地方自治やメディア
に関する論説

1973年
名古屋生まれ

090-7903-2885
takashi@hammerbird.jp

最終更新 2023年2月

“Innovation by Consensus”

個々人に”Sovereign power”がありながら、コミュニケーションが旧態依然である矛盾が、私達の社会、企業等が抱える問題の根底に存在します。この矛盾を解くことで課題解決、価値向上を図るアプローチが、Innovation by Consensusです。

- マーケティングプランナーとして広告、販促企画から企業のネットコミュニケーション戦略の策定・実施を手がける。仕事を通じて、政治分野へのマーケティングとコミュニケーションの応用が今後の日本社会に必要と考え、独立。株式会社ハンマーバードを（相互理解を妨げる壁を壊し、繋ぐ手段を創るハンマーを持つ青い鳥）起業。
同時に**慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科**に入学。

- 政治学の曽根泰教教授、行政改革の上山信一教授、ネットワーク論の金子郁容教授のもとで合意形成に繋がる議論の場がほとんどない日本政治の機能を補う仕組みとして、**オンライン政策ファシリテーター**：『ポリネコ』の基礎要素を開発、特許化。
大学院での研究で100人以上の現職国会議員と1万人の一般参加で世論調査とは異なる**輿論調査としての有効性を確認**。また、多くの企業において外部と内部のコミュニケーションが一体化されていない実務経験をもとに、**企業内の個々人と社会（ステークホルダー）のつながりを『色』で視覚化する方法**を開発し特許化。

- 新潟市都市政策研究所では、過度な自動車社会となっている新潟市の政策課題である、**『公共交通の再構築』**の政策分析および行政、企業、市民を繋ぐコミュニケーションデザインとして”バス奉行”を企画し解決の緒をつくることに成功。

- フジテレビ/BSフジ『コンパス』、朝日新聞『オルタナティブニッポン』では、**既存のメディアとソーシャルメディア（SNS）の組み合わせによる先進事例**を開発。
朝日新聞では、結論を決めず、情報の送り手と受け手のキャッチボールから、記事をつくるプロジェクトを企画開発。紙面と連動するニコ生放送を夏野剛氏らと実施。
『コンパス』では100名以上の有識者（大学教授・研究者、経営者、各分野の専門家 飯田泰之氏 江川紹子氏 クロサカタツヤ氏 常見陽平氏など）を番組に繋ぐファシリテーター/事務局機能を担う。フジテレビのネット放送 ホウドウキョク『コンパス』では佐々木俊尚氏、速水健朗氏などMCとともに番組企画を担当。

- 『ポリネコ』地域版の先行モデルを栃木県塩谷町で実施。
人口減少が続く状態に、町はどう対処すべきかを中学生以上の**住民2000名以上と町議会議員12名の参加**によって〈人が育つまちづくり〉という方向性への**意思形成に成功**。
第11回マニフェスト大賞最優秀コミュニケーション戦略賞を受賞（2016）

- デロイトトーマツコンサルティング合同会社と共同で、**『自治体コミュニケーションの未来を展望する調査2019』**を実施。全国565の市と町の回答から、地方自治体におけるコミュニケーション（広報・公聴）が惰性化し、機能不全に陥っていることを回答データから浮き彫りにする。

- トイレと人を結ぶことで広域、多人数での健康管理を実現する技術を特許化。（2020）

- 長野県千曲市にて改良を加えた新型『ポリネコ!』の実装をスタート。（2022）
データやファクトに基づき住民が意思表示を行い、市議会とも一緒に課題解決を行える新しい地域経営の実現を目指す。

■主な特許

- 『政治家評価システム』特許4528691号
国民と政治家が社会や地域の課題に関わるデータやファクトを”知り-学び-考え-意思表示”して相互参照することで、お互いの考えのシンクロ率を確認しながら相互理解のサイクルを回す（アクティブマッチング）を実現することで、国民と政治家が一緒に最適解を見出し共有する仕組み。現在不可能な国民的議論を実現し、デジタル・ガバメントを可能にする双方向参加型社会運営　インフラ:Political Needs Coordinator（PoliNeCo：ポリネコ）の基礎要素

- 『属性情報管理システム』特許4619073号
組織や団体の理念・経営戦略と、個々人の考え、行動を結びつけ『色』に変換することで、働く個人と集団の関わり方を相対化した組織運営（強いリーダーシップと組織内の分断、縦割り解消の両立）を実現する。同時に、心理的安全性を確保した環境整備を促進するメディアデザイン。Interactive identify Communication And consensus Organizer（iicao：イイカオ）の基礎要素

“VISION is a Consensus”

基本的なアイデア

ハンマーバードの名前は人と人との相互理解を阻む壁を壊すハンマーを持った青い鳥に、由来しています。

これまでの社会や企業では、右図の１や２の方法で統治-ガバナンスを行ってきました。

しかし、いずれも個々人に対しては抑圧的な環境を生じることが判っています。

この抑圧が資本主義や民主制、そして市場における閉塞感となっているのが現在の世界です。

右図の３の方法によるガバナンスによって、この閉塞感は解消可能です。

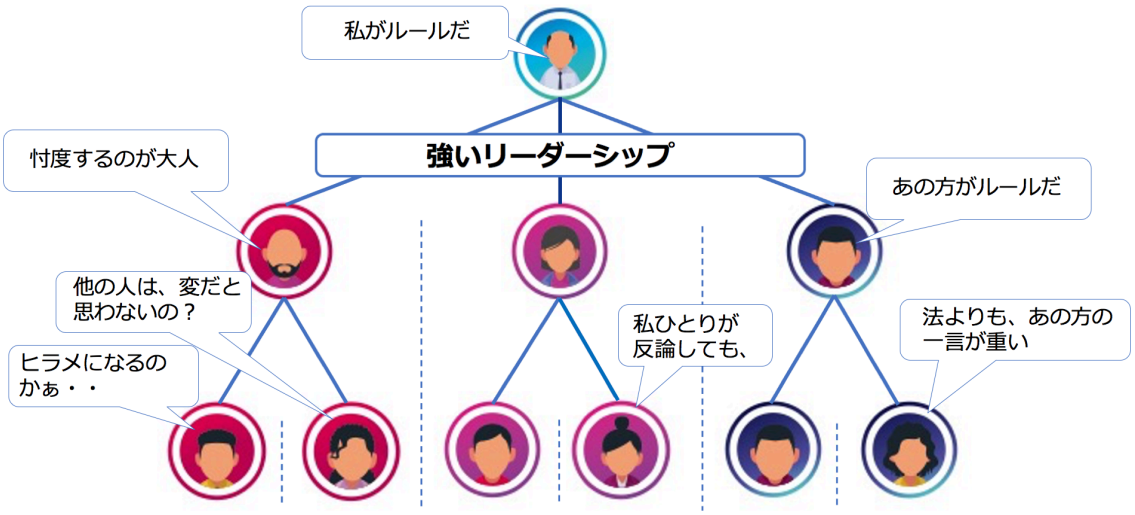
実際に、飛行機運行の世界では、事故をゼロにするという共通目標の確立によって、大きな成果を挙げることに成功しています。

これからの社会、企業の課題解決に不可欠である、
ビジョン、
合意形成、
意思形成に必要な
知と方法を開発し、
提供するのが、
ハンマーバードです。

最終更新 2023年2月

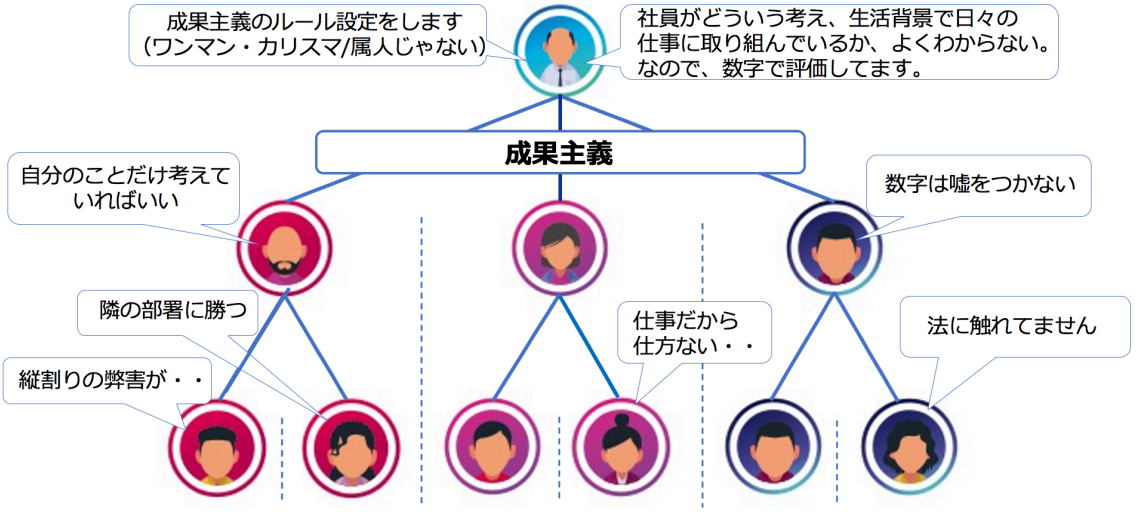
1 ●.属人的統治（リーダーシップ依存）の限界

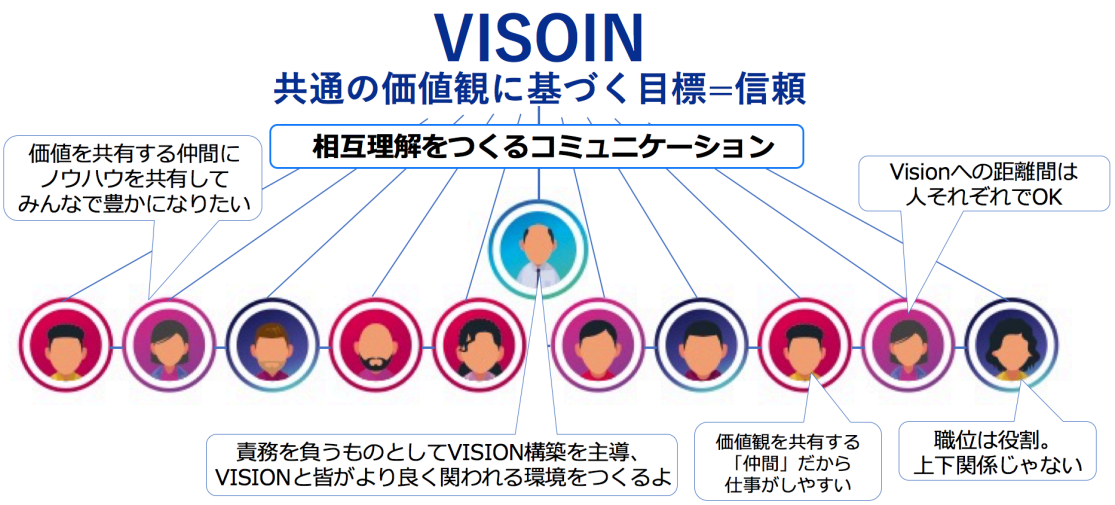
リーダーが間違えると全体が間違え、衰退します。



2. ●成果主義（新自由主義的発想）の限界

人が評価基準に隷従し、互いに足を引っ張り合います。



3. ● VISION DRIVE（共通目標：コンセンサス・パーパス経営）

共通目標に向かって互いに助け合うことができます。